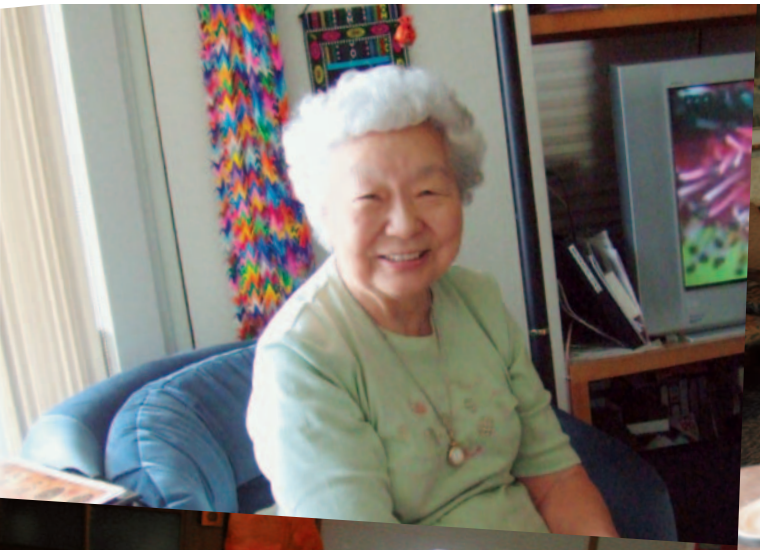
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構　国立民族学博物館　JASCA 日本文化人類学会 The Japanese Society of Cultural Anthropology

人間文化研究機構　第 23 回公開講演会・シンポジウム

高齢期のウェルビーイングと多様な住まい方

かわりゆく人の生（ライフスタイル）から考える



2014年3月8日［土］13:00-17:20

イイノホール 東京都千代田区内幸町2-1-1 定員500名／参加費無料

あたらしい社会デザインとして、「エイジ・フレンドリー・コミュニティ」構想が注目されています。高齢者の多様な希望やニーズに応える環境を模索することが、高齢者だけにとどまらず、すべての人にとって住み心地のよい生活の場につながるという視点です。すべての人のウェルビーイングにとって、希望する活動や心身の変化に応じて生活の拠点を自由に選択し、必要な環境に移れるということだけではなく、生活拠点や周囲の生活環境に包み込まれる包摂感を感じられることが不可欠です。変化の中で生きる人びとを包み込む新しい共生環境や多様な住まい方の可能性について、探ります。

主催：人間文化研究機構　担当機関：国立民族学博物館　／　後援：文部科学省・日本文化人類学会

国立民族学博物館　機関研究「包摂と自律の人間学」領域　プロジェクト「ケアと育みの人類学」成果公開

高齢期のウェルビーイングと多様な住まい方 かわりゆく人の生（ライフスタイル）から考える

program

13:00　開会の辞／石上 英一（人間文化研究機構理事）
13:00-13:05　挨　拶／金田 章裕（人間文化研究機構長）
13:05-13:35　企画趣旨／鈴木 七美（国立民族学博物館教授・総合研究大学院大学教授）
13:35-14:35　基調講演「**高齢者コミュニティという選択肢**」／上野 千鶴子（立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授）
14:35-14:50　休　憩
14:50-15:30　講　演「**シンガポールにおける新しい高齢者の住まいと世代間関係**」／ Leng Leng Thang（シンガポール国立大学准教授）
15:30-16:20　特別講演「**高齢社会のウェルビーイング 福祉政策は何ができるか**」／宮本 太郎（中央大学教授）
16:20-16:35　休　憩
16:35-17:15　パネルディスカッション／パネリスト：上野 千鶴子・宮本 太郎・Leng Leng Thang・司会：鈴木 七美
17:15-17:20　挨　拶／須藤 健一（国立民族学博物館長）
17:20　閉会の辞／石上 英一（人間文化研究機構理事）

entry

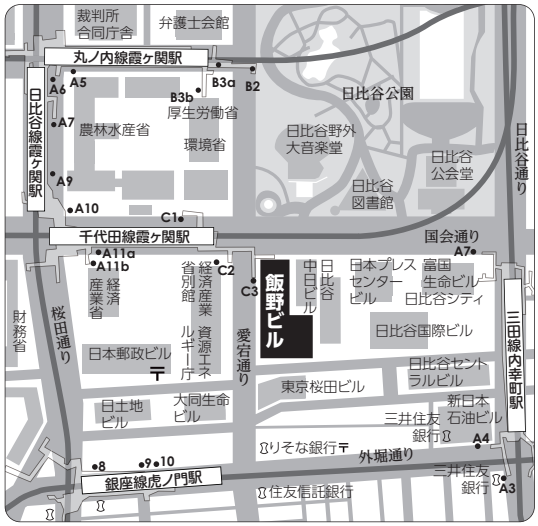
入場無料、事前申込み制。定員になり次第、締切ります。
（2月下旬より順次参加証を発送予定）

申込方法：「3月8日シンポジウム参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。①郵便番号②住所③氏名④電話番号⑤今後の講演会などのご案内 ア.講演会を含む民博主催の研究会･催物等の案内を希望する／イ.講演会のみの案内を希望する／ウ.いずれの案内も希望しない

注　意：2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方の①～⑤を必ず明記してください。手話通訳をご希望される方、車椅子をご利用される方は必ずご記入ください。

宛先・連絡先：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 研究協力課 宛
- FAX：06-6878-8479
- メールアドレス：nihu2013@idc.minpaku.ac.jp
- 電話：06-6878-8347（平日：月～金 9:00～17:00）

access



【利用可能路線】
- 東京メトロ 日比谷線･千代田線「霞ケ関」駅 C3出口 徒歩1分
- 東京メトロ　丸ノ内線「霞ケ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 東京メトロ　有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分
- JR山手線･京浜東北線･東海道線･横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
- 都営地下鉄　三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

※本催しについてのイイノホールへの照会はご遠慮ください。

【空港へのアクセス】〈成田空港〉成田エクスプレス（東京駅より）…… 約47分
リムジンバス（東京駅丸の内北口／八重州口より）…… 約80分
〈羽田空港〉JR+モノレール（東京駅より）…… 約34分
リムジンバス（東京駅八重洲口より）…… 約40分

profile

上野 千鶴子【うえの･ちづこ】

立命館大学大学院先端総合学術研究科特別招聘教授。東京大学名誉教授。認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長。専門は、家族社会学、ジェンダー論、女性学。『近代家族の成立と終焉』（岩波書店 1994 年）でサントリー学芸賞受賞。『老いる準備―介護することされること』（学陽書房 2005 年／朝日文庫、2008 年）、『おひとりさまの老後』（法研 2007 年）、『男おひとりさま道』（法研 2009 年）、『ケアの社会学』（太田出版 2011 年）、『ニッポンが変わる、女が変える』（中央公論社 2013 年）など。

宮本 太郎【みやもと･たろう】

中央大学法学部教授。専門は、比較政治学、福祉政策論。日本比較政治学会副会長、内閣府参与などを歴任。政治学博士。『福祉国家という戦略　スウェーデンモデルの政治経済学』（法律文化社 1999 年）、『福祉政治　日本の生活保障とデモクラシー』（有斐閣 2008 年）、『生活保障 排除しない社会へ』（岩波新書 2009 年）、『社会的包摂の政治学』（ミネルヴァ書房 2013 年）、『生活保障の戦略 ― 教育・雇用・社会保障をつなぐ』（編著 岩波書店 2013 年）など。

Leng Leng Thang【レンレン･タン】

シンガポール国立大学日本学科准教授。世代間関係ジャーナル副編集長。国際人類学・民族学科学連合（IUAES）高齢化・高齢期委員会議長。フェイ・ユエ・ファミリーサービスセンター会長。PH.D. 専門は、文化人類学、老年学・世代間関係、ジェンダー。著書：*Generations in Touch: Linking the old and young in a Tokyo Neighborhood*（Cornell University Press, 2001）、共編著：*Experiencing Grandparenthood*（Springer, 2012）など。

鈴木 七美【すずき･ななみ】

国立民族学博物館先端人類科学研究部教授・総合研究大学院大学文化科学研究科教授。専門は、医療人類学･エイジング研究。博士（学術・文化人類学）。著書：『出産の歴史人類学』（新曜社 1997 年）、『癒しの歴史人類学』（世界思想社 2002 年）；編著書：*The Anthropology of Aging and Well-being*, SES No.80（国立民族学博物館2013年）；共編著：『高齢者のウェルビーイングとライフデザインの協働』（御茶の水書房 2010 年）など。

人間文化研究機構　第23回公開講演会･シンポジウム　申込み

必要事項をご記入の上、FAX▸**06-6878-8479**までお申し込みください。

住　所

氏　名（ふりがな）

電話番号

今後の講演会などのご案内送付について　ア 講演会を含む民博主催の研究会･催物等の案内を希望する　イ 講演会のみの案内を希望する　ウ いずれの案内も希望しない